

専門分野				
中国絵画史				
研究課題				
中国絵画における女性表現の展開				
教育活動				
担当授業科目(学部)				
アートコミュニケーション、アート表現技法、東洋美術史、デッサン入門、スケッチ入門、創作研究（絵本をつくる・入門）、創作研究（絵本をつくる・展開）、リベラルアーツ入門Ⅱ、専門基礎演習Ⅰ、専門基礎演習Ⅱ、専門応用演習、卒業研究、フィールドスタディーズ(芸術文化)B、ワークショップ（絵本）、博物館実習				
担当授業科目(大学院)				
事項	年月	対象者	概要	
教育方法の実践例				
作成した教材・資料集				
その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD等				
訳書『中国出土壁画全集』第7巻:陝西(上)巻	単	平成24年4月	科学出版社東京、国書刊行会	陝西省出土の秦から唐までの壁画 全214図を収録し、詳細なデータと共に全ての図版に解説を付した書籍の全訳。図版の監修、および全ての図版解説の翻訳を担当した。
訳書『中国出土壁画全集』第8巻:陝西(下)巻	単	平成24年4月	科学出版社東京、国書刊行会	陝西省出土の唐から元までの壁画、全215図を収録し、詳細なデータと共に全ての図版に解説を付した書籍の全訳。図版の監修、および全ての図版解説の翻訳を担当した。
訳書『中国出土壁画全集』第9巻:甘新寧巻	単	平成24年4月	科学出版社東京、国書刊行会	甘肅省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区出土の前漢から金までの壁画、全216図を収録し、詳細なデータと共に全ての図版に解説を付した書籍の全訳。図版の監修、および全ての図版解説の翻訳を担当した。
訳書『中国出土壁画全集』第10巻:総合巻	単	平成24年4月	科学出版社東京、国書刊行会	北京市、江蘇省、浙江省など、11の省や自治区出土の後漢から清までの壁画、全216図を収録し、詳細なデータと共に全ての図版に解説を付した書籍の全訳。図版の監修、および全ての図版解説の翻訳を担当した。
訳書『中国出土壁画全集』第11巻:別巻	単	平成24年4月	科学出版社東京、国書刊行会	中国壁画墓に関する論文、中国各地から出土した壁画に関する概説、本全集の索引、図版一覧(総目次)からなる。論文の執筆、および概説の全訳を担当した。

『アジアの芸術史 中国の美術と工芸』	共	平成 25 年 10 月	藝術学舎	共著者:金子典正、担当頁:109- 184 第 9 章 山水画の確立/第 10 章 院体画の成立と展開/第 11 章 中国陶磁器の精髓/第 12 章 伝統への回帰と文人画家の台頭/第 13 章 浙派・呉派から多様化の時代へ/第 14 章 陶磁の彩と工芸の極致 五代・北宋から清に到るまでの中国 絵画の展開、および陶磁器の変遷に 関して、作例の基づき解説した。
『近現代の芸術史 アジア・アフリカと新しい潮流』	共	平成 25 年 10 月	藝術学舎	共著者:林洋子他、担当頁:83-94 第 7 章 中国 辛亥革命、新文化運動、社会主義 国家の樹立、文革、天安門事件、高度経済成長と続く社会の激変の中で、美術がどのように時代と対峙していったのかについて解説した。
<b>学術論文</b>				
「中国壁画における墓主人の表現をめぐって - 昇仙から墓主飲宴図へ」	単	平成 24 年 4 月	『中国出土壁画全集』 第 11 巻	墳墓壁画における最も重要な画題である墓主人の表現に関して、昇仙を希求した表現から飲宴を中心とした表現への変容を論じ、合わせて墓主人が正面性を強めていくことを考察した。
「興教寺所蔵の唐代石刻線画《搗練図》に関する考察」	単	平成 26 年 12 月	『帝塚山学院大学研究年報』 第 49 集	陝西省長安県興教寺所蔵の石槽に線刻された「搗練図」について、その絵画としての性格を分析し、搗練を主題とした唐代仕女図の図様的一端を明らかにした。また、北宋の徽宗が模写したとの伝称を有する唐の張萱「搗練図」(ボストン美術館蔵)との関連性にも言及し、中国絵画史における図像の伝承に関する考察を試みた。
<b>学会発表</b>				
<b>演奏会・発表会</b>				
<b>その他の研究発表、演奏</b>				
<b>その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)</b>				
<b>研究助成金の受給状況</b>				
<b>科研費の採択</b>				
<b>研究タイトル</b>	<b>助成金タイトル、支給元</b>		<b>研究代表者・分担者の区別</b>	
	<b>支給額</b>		<b>支給年度</b>	
<b>その他の外部資金による活動</b>				
<b>研究タイトル</b>	<b>助成金タイトル、支給元</b>		<b>研究代表者・分担者の区別</b>	
	<b>支給額</b>		<b>支給年度</b>	

その他研究活動上特記すべき事項		年月	概要		
<b>学内委員等</b>					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
平成 22 年 4 月～平成 24 年 6 月		学院改革会議・大学部会・委員、大学評議会・評議員、入試委員会(第1部会)・委員、入試委員会(第2部会)・委員			
平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月		学部長補佐			
平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月		キャリア教育・開発委員会・委員			
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月		就職委員会・委員			
平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月		生涯学習センター委員会・委員			
平成 25 年 4 月～現在		大学ハラスメント防止委員会・委員			
平成 26 年 4 月～現在		図書館長、大学自己点検・評価委員会・委員			
<b>社会活動</b>					
<b>学会役員</b>					
就任期間		学会役員名			
<b>公開講座</b>					
講座名、講演タイトル		単共の別	年月	場所	概要
美術館講演会「中国絵画における女性表現と仕女図の系譜について」		単	平成 24 年 12 月	澄懷堂美術館	特別展での講演会。六朝から清代までの絵画の中から、各時代を代表する女性表現を取り上げ、様式や表現の変遷について論じるとともに、中国絵画における仕女図の特質について解説した。
成人大学講座「芸術に親しむ：東洋美術～山水画の世界を旅する～」		単	平成 26 年 7 月	大阪狭山市公民館	本学の生涯学習センター連続講座の 1 回分を担当。中国の山水画について、「臥遊」をキーワードにして、その誕生から元代までの表現の変遷をたどりながら、山水画の鑑賞方法についても解説した。
生涯学習センター講座「教養は人生を豊かにする：シルクロードと中国美術」		単	平成 27 年 10 月	帝塚山学院大学	本学の生涯学習センター連続講座の 1 回分を担当。シルクロードを通じてもたらされた国際色豊かな文物を紹介しながら、東西文化の交流について論じた。また正倉院宝物を取り上げ、シルクロードの意義についても語った。
<b>学外機関委員等</b>					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
<b>その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項</b>					
<b>海外での活動</b>					
<b>海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること</b>					
期間	国名	概要			